JCI 2012 Junior Chamber International Mutsu
むつJC対内紙
2012.11 vol.10
2012 年度スローガン
気概と誇り
己を磨き、力を合わせ、地域に貢献しよう
2012 11ニューアル HPアドレス http://www.mutsu-jc.com/ むつJC 2つのブログ 『理事長様々』……理事長目線で随時更新中 『活動報告ブログ』……各担当者が綴っています
発行 一般社団法人むつ青年会議所 理事長 大瀧 孝宏 編集 総務情報委員会 委員長 後藤 憲和 〒035-0031 むつ市柳町 1-10-25 TEL:0175-22-4360（FAX:22-6450） E-mail：info@mutsu-jc.com

（一社）むつ青年会議所 スタートにあたり

理事長 大瀧 孝宏

先ずもってこの度、一般社団法人への登記を行い、一般社団法人むつ青年会議所へ移行が完了しました事をご報告させて頂きます。担当である齋藤専務、清藤局長はじめ、事務局の川口さん、そしてこれまでご協力頂いた全ての皆様に心より御礼を申し上げます。ここ数年悩まされ続けてきた問題が解決したという事でホッとしたというのが正直なところであります。この公益法人改革は、天下りの温床となったり、営利法人に類似した法人等が多数設立され、国民の厳しい批判を受け、これを一掃する為に敢行されたものですが、私見を申せば、青年会議所の様にどう見ても公益的な活動を行っていると認められる団体は、特例で公益法人と認定すべきであったと思います。（あくまで私見です）今回我々は一般を選択した訳ですけども、確かに公益的信用を得やすいというメリットもあるでしょうが、一般にも公益目的事業にしばられず自由な事業展開が行えるというメリットもありますので、どちらが良い悪いという事は一概に言えないと思います。しかし一つ言える事は、我々は創立以来五十年以上にわたり、先輩方から脈々と受け継がれ地域に根差した公益性のある運動を展開してきた事実があるという事です。この事に自信と誇りをもって、これからも一般社団法人むつ青年会議所として明るい豊かな社会の実現に向け全力で邁進して参りますので、皆様のかわらずのご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

（公社）八戸青年会議所が第６４回全国大会主管会議所に決定 !!

3年後の 2015 年、八戸で全国大会が開催されることになりました。

10月定例会 早掛沼周辺の清掃活動

魅力あるJC確立委員会 委員長 土方 令一

10月21日に新規事業ということで、早掛沼周辺の清掃を実施しました。この計画は、今年度、新規事業を実施するという目標をもって、当委員会で何度も話し合い、開催することができました。

事業実施にいたる背景として、下北かるたに登場する景勝地を守りたいという想いがありました。桜の名所である早掛沼公園ですが、近年、周辺がゴミで汚れていることを知り、清掃したいという思いがありました。事業計画の中には、継続性を持たせ、今後もかるたに登場する場所を清掃していこうということにまとまりました。

ガードレール越しにポイ捨てされたゴミ

当日は、むつみらいライオンズクラブ様やむつロータリークラブ様などの団体のご協力を頂くことができました。おかげさまで天気も非常に良く、JCメンバーも20名近く参加してもらい清掃活動を実施致しました。公園の廻りをA、Bというように2チームに分けて実施しました。

Bコースのゴミはとても多く、空き缶や金庫、雑誌等いろんなものがでてきました。できる範囲で清掃を実施し、無事事業を終えることができました。

事業成功までには、毎月2回は委員会を開催して、出席いただいた方には、感謝しており、メンバーの協力なしでは、やれなかったと思っております。実施したことのない事は小さいことや、やり慣れてそうなことでも、準備が大変だと思いました。でも自分自身の勉強になりました。

この事業で当委員会の事業は今年すべて終了となりましたが、阿部副委員長、品田委員には感謝しております。これからも、他の委員会、そしてむつ青年会議所への協力をしていきたいと考えております。

想像以上のゴミの量にメンバーも驚くばかり

10月定例会 清掃活動に参加して

魅力あるJAYCEE育成委員会 相馬 貴徳

Aコース

去る10月21日（日）10月定例会として、早掛沼公園周辺のゴミ拾い清掃活動を行いました。我々の担当したAコースは北日本機械工業前交差点から早掛沼公園入口までの国道279号線沿いでした。ここは、日中は車通りが激しい場所ですが、夜はさほど車通りも多くなく、そのことが車内からのポイ捨てに悪い影響を与えているのかも知れません。実際、清掃してみると歩道には、雑誌や缶、ペットボトル、レジ袋やたばこの吸殻、ガムやお菓子の包装紙など、大型のゴミこそありませんでしたが2時間程度でゴミ袋数個になるほどのたくさんのゴミを拾いました。まだ、ほんの一部の清掃活動に過ぎませんが、今後もキレイなまちづくりを目指して行きたいと思います。

この催しでは、エネルギーに対する関心が高まる昨今の社会情勢を受け、衣・食・住のそれぞれの場面で一人ひとりがエネルギーについて学べる各種企画が開催されました。フリーマーケットや省エネ料理教室、省エネ機器の展示等、身近な「エコ」を体験でき、また料理家の下田尚子氏を講師に迎えた講演会では料理や食を通じたエコについて、改めて考えるきっかけとなりました。

せっかくなので早掛公園内も清掃散歩してからメンバーで記念撮影

新入会員紹介

高屋 龍一（たかや りゅういち）

㈲眞心堂

昭和56年2月25日生
血液型 O型

この度むつ青年会議所に入会致しました高屋龍一と申します。葬儀を仕事とし起業して8年目となります。仕事を通しての悩みや喜びを共有できる同年代の仲間が欲しい。そのことが入会する一番のきっかけとなりました。むつ青年会議所の中で自分をどう生かせるのか、自分がどう成長できるのかを意識して、少しずつでも活躍できるように頑張っていきたいと思っています。これからよろしくお願いいたします。

第29回青少年育成むつ市民大会 シンポジウムを企画・運営して

地域を担う心醸成委員会 委員長 角野 太

シンポジウムテーマ『伝統文化の継承・まつり』

10月13日（土）第29回青少年育成むつ市民大会のシンポジウムを運営させていただきました。パネリストとして田名部祭りの組頭の皆様とむつ市連合ＰＴＡから山崎先輩にご参加いただき、我らが大瀧理事長がコーディネーターという布陣で「伝統文化の継承・まつり」をテーマに討論会をさせていただきました。

運営する私たちは組に参加したことはもちろん、祭りにもあまり参加したことがないため、組に参加している方たちは祭りを楽しみながら運営しているだけなのかと思っていましたが、お話を伺うちにそれが間違ったイメージだと知ることに。組の活動の大きな目的は祭りの運営ではあるのですが、祭りや組を存続させるためには組の活動に参加する子供たちの教育にも普段から力を注いでいらっしゃる、地域に密着した活動をされていて、むしろこちらの活動のほうが割合としては多いということでした。子供たちは参加することで挨拶ができるようになったり、自主性が出てきたりするというお話を伺って、やはりこういったコミュニティーは子供たちが健全に育っていくためには必要なものなのだと改めて感じさせられました。普段このような問題について考える機会が少ない私にとってはとても良いきっかけとなりましたし、同じように間違ったイメージを持たれている方は少なくないかと思います。

快くインタビューを引き受けてくださった組頭の皆様、緊張した雰囲気を和ませてくださった山崎先輩にはこの場をお借りして改めて感謝申し上げます。また、当日までの準備を手伝っていただいた坂本直前、齋藤専務、後藤委員長、竹本副委員長、浜田委員長、そしてコーディネーターという大役を果たされた大瀧理事長にも改めて感謝いたします。

エネルギーフェスティバル in 八戸

（公社）日本青年会議所 東北地区 青森ブロック協議会 副会長 坂本 大助

10月7日（土）、八戸市において「エネルギーフェスティバル」と題した、本年度の青森ブロック協議会主催の事業が行われました。会場設営から運営総括を青森ブロック担当委員会が設え、早朝5時!!集合で八戸の地へ各地より集結。私は副会長ということもあり、本部付けで特に何をする事がないだろうと思いきや、15張りテント移動、パイプ椅子300脚、長テーブル多数の移動など肉体労働主体の設営に集まった7～8人ほどで従事しました。因みにこの事業、議案書の段階から、かなり大きな事業となる予想はついていて、また会場にも一般来場客の見込める イベントになると想像していました。ただ、危惧されていたのは設営に伴う人員の問題で、我々のLOMもそうですが、同じように青森ブロック協議会も動員できるメンバーの数が限られており、ご当地の八戸メンバーなどに協力を求める部分が多くなるのも仕方がないことです。今後の課題でしょう。エネルギーフェスティバルはテナントに一般企業参加のブースも参加設置していただき、エコロジー、エネルギーについて気軽に触れ、見聞を広めてほしいということで企画されたブースです。一般来場もそれなりに来て頂き、全体的にはほのぼのとしたイベントでした。私自身は設営、受付に張り付きっぱなしだったので、イベント内容についてはむつJC森谷君にお願いします。改めて当日はむつのメンバーも沢山来ていただき感謝感激でした。

エネフェスに参加しました

地域力増強委員会 委員長 森谷 翔一郎

10月27日、八戸市福祉公民館において、「エネルギーフェスティバルin八戸」が開催され、むつ青年会議所からは、大滝理事長、角野委員長、竹本副委員長と私が参加しました。また、坂本直前理事長が、同協議会の副会長として運営に携われました。

みさわ地産地消フェア

専務理事 齋藤 晃史

10月28日に三沢市で開催された「みさわ地産地消フェア」にブース出展して来ました。出店したのは、東通牛の串焼き限定300本。参加者は「肉焼き筆頭 坂本直前・「準備係 齋藤専務」・「販売員 角野委員長、阿部副委員長」の4名が参加。私たちの隣では山崎先輩が東通村のブルーベリーを使用した大福も販売。

昨年は天気も良くお客さんが長蛇の列を作っていたと聞いていたのですが、今年は今にも雨が落ちそうな曇り空の下、10時頃からポツリポツリと来客。寒いこともあってか出足はのんびりとした感じで、300本売り切ることが出来るのか不安なスタート。暇な時間は各員それぞれ他のブースを眺めたり、自分達で串焼きの味見をしたり（もちろん料金は払っています）とリラックスムード。

ところが、11時半を過ぎた辺りから突然混雑し始め、あっという間に長蛇の列を作ることに。ここからは全員フル回転で肉を焼いたり接客したり。最後には10分程お待ちいただく事態にもなりましたが、13時で完売御礼。すぐに片付けをしていると雨が降り始め、慌てく解散の運びとなりました。

品物を仕入れて販売するというのは、個人的に久々の経験であり商売の原点を感じることが出来たものとなりました。

ブース出展の様子
東通牛串焼き３００本は完売御礼

むつJC 12月の予定 卒業式 & クリスマス家族会

日 時 平成２４年12月１５日（土）
場 所 むつグランドホテル

対外紙広告協賛のお願い

今年も１２月に対外紙を発行致します。今年一年の総括として、また広く一般の方にむつＪＣを知って頂けるように下北全域に発信したいと考えております。発行に伴い今年も広告協賛へのご賛同とご協力を心よりお願い申しあげます。

発行日：12 月 26 日（水） 19,300 部（予定）

総務情報委員会 委員長 後藤 憲和